

**2023 SUMMER!**

茨城県立太田第一高等学校野球部

**蘇える夏空に、駆けあがれ青龍魂!**

**第105回大会へ**



是非2015~2023編(別pdf)もご覧ください

学校HP→学校生活：部活動：野球部

# 2023 SUMMER!

## 茨城県立太田第一高等学校野球部 1

# 珂北大会ベスト4 進出!

### ○ 第76回 珂北高校野球大会①・・・6月

6月1日から高萩市民球場において第76回珂北高校野球大会が行われました。太田一高は4日2回戦からのスタートでしたが、2回戦で日立北高、準々決勝で科技高日立にはコールドで勝利。準決勝では接戦の末、惜しくも明秀にサヨナラ負けを喫し決勝進出を逃しましたが、昨年に続き2年連続で珂北大会ベスト4となりました。

## 太田一高 6-3 日立北高

【2回戦】6/4

日立北高	0	1	0	0	1	0	0	1	0	3
太田一高	0	0	0	1	1	0	3	1	×	6



先発した庄司は、初回先頭バッターにレフトへ2塁打を打たれるも、落ち着いて後続を断ちました。しかし、2回、5回にタイムリーを打たれ前半2失点。太田一高打線は、4回にレフト前で出塁した茂又を、菊池がレフト前へタイムリーで1点。続く5回にも死球で出た鷹野を、中嶋がレフト線へタイムリー2塁打で返し2点目。2-2同点で後半に入りました。



打線がようやく繋がりだした太田一高は7回、先頭の4番山本が左中間を深々と破る3塁打、茂又の四球の後、谷田部の3塁強襲で逆転。さらにこの日全打席ヒットで出塁の菊池がレフトオーバーの2点タイムリー2ベースを放ち、この回一気に3点を奪って5-2と突き放しました。



さらに8回には、長打連発の1番庄司がこの日3本目の2塁打をレフト線に放ち、4番山本がライト前へ巧みに運びダメ押しの6点目。8回、相手打線に3点目は献上するものの、先発庄司が最後までしっかり投げ切り、無四球の安定したピッチングで6-3で勝利しました。



# 2023 SUMMER!

## 茨城県立太田第一高等学校野球部 2

# 珂北大会ベスト4 進出!

○ 第76回 珂北高校野球大会②・・・6月

## 太田一高 11-4 科技日立

【準々決勝】6/7	科技日立	1	0	0	0	2	1	0	4
	太田一高	1	1	0	0	1	6	2	× 11 (7回コールド)



準々決勝は、春季県大会8強の佐和高を、完封で勝ち上がった科技日立です。先発はエース番号を背負った鷹野。立ち上がりに2ベースのあとレフト前を打たれ、バッターランナーを扶殺に追い込みましたが、連係が乱れ1点を奪われます。しかし、太田一高打線も佐和高をほぼパーフェクトに抑えた相手投手に対し、鷹野のライトへの2ベース、5番茂又のレフト前タイムリーですかさず同点。2回裏にも菊池の四球を足掛かりに相手野手陣をかき乱し1点をもぎ取り逆転します。



エース鷹野は2回以降落ち着きを取り戻して初回の1失点のまま5回に入りましたが、この回の1アウト後、突然投球が乱れ、相手打線に捉まります。四球の後、3連続長短打の2失点で逆転を許すと、マウンドを庄司に託します。その裏、太田一高はすぐに茂又の2塁打と谷田部のレフト前で3-3の同点に追いつきますが、6回にまたも相手に2塁打とスクイズで1点を取られ3-4。



1点ビハインドの6回裏、ついに太田一高打線が火を噴きます。鴨志田、鷹野の四球から反撃を開始すると、3番中嶋、4番山本、5番茂又の3連打、6番谷田部の四球のあと、満塁で今大会打撃爆発の7番菊池が走者一掃のレフトオーバー3塁打を放ち一挙この回6得点で9-4と逆転。そして7回裏、四球の中嶋を山本の会心のセンターオーバーで返し、最後は谷田部のセンター前サヨナラタイムリーが飛び出し、11-4の7回コールドで2年連続で準決勝に駒を進めました。



# 2023 SUMMER!

## 茨城県立太田第一高等学校野球部 3

# 珂北大会決勝進出ならず!

○ 第76回 珂北高校野球大会③その1・・・6月

### 太田一高 7-8 明秀日立

【準決勝】6/8	太田一高	0	0	0	0	4	0	0	2	1	7
	明秀日立	0	1	0	2	2	0	0	1	2	8



準決勝は6/7、明秀日立との一戦です。試合は白熱したシーソーゲーム。太田一高は打線爆発。最後の最後まで強気の攻撃を仕掛け、安打数も強力明秀打線を上回る13本を放ち9回1アウトまでリードしますが、1アウト2、3塁から三塁線を強烈に抜かれ7-8でサヨナラ負けを喫しました。



先発の鷹野は持ち味の緩急をつけた丁寧なピッチングで4回まで被安打4本と抑えますが、そのわずか4本が本塁打を含む長短打で攻められ3失点となります。しかし5回、ここから太田一高打線が目覚めます。今大会絶好調の7番菊池がライトフェンスに届く三塁打を放つと、平塚がしっかりとセンターへ犠飛で1点。さらに庄司が四球で出ると、2番鷹野、3番中嶋の連続タイムリー2塁打が飛び出し、さらに4番山本がレフトへ逆転の3者連続タイムリーで一気に4-3とゲームをひっくり返しました。



しかし、このまま終わる明秀ではありません。5回裏、1点ビハインドの明秀に、鷹野、そして途中からリリーフの庄司が長短打合わせて3本を打たれて2失点、4-5と逆転されました。

逆転された太田一高はあきらめません。8回表には、先頭4番の山本がライトへ2塁打を打つと、茂又の犠打、谷田部の内野安打、そして平塚のライト前タイムリーで2得点、6-5と再逆転。



# 2023 SUMMER!

## 茨城県立太田第一高等学校野球部 4

# 珂北大会決勝進出ならず!

○ 第76回 珂北高校野球大会 ③その2・・・6月

## 太田一高 7-8 明秀日立

【準決勝】6/8

太田一高	0	0	0	0	4	0	0	2	1	7
明秀日立	0	1	0	2	2	0	0	1	2	8

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E	B	O	H	E
太田一	0	0	0	0	4	0	0	2	1	7	13	2	●	●	●	●	●
明秀	0	1	0	2	2	0	0	1	2	8	10	2	●	●	●	●	●

  

1	2	3	4	5	6	7	8	9	PL	1B	2B	3B	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
TN	1	4	H	3	5	7	6	8	9	野川	藤本	小早	山坂	TN	1	8	3	6	2	4	9	7					
明山	鈴	久	舟	富	古	青	吉	坂	太田	一	野	嶋	本	又	部	池	塚	秀	口	木	越	保	森	瀬	砥	田	山

《8回裏～》

明秀も意地を見せ、8回裏2塁打のランナーを三振振り逃げWPで3塁に送り、無死1・3塁からショートゴロゲッツー間に1点で6-6の同点とします。

同点にされた太田一高は攻撃の手をゆるめません。先頭鷹野がライト前で出塁すると、犠打と相手失策でチャンスを掴み、谷田部がきっちりライト犠飛で7-6と三度リードを奪います。



1点リードで迎えた最終回。疲れを隠せないマウンドの庄司は、先頭打者に四球を与えます。次の4番を渾身の投球で三振にしとめますが、その後、内野の乱れをつかれ、1アウト2・3塁。最後は三塁線を抜かれ、2時間50分の激闘は7-8で明秀日立のサヨナラ勝ちとなりました。



昨年に続き最終日まで勝ち残り、準決勝進出と頑張りを見せましたが、強敵明秀にあと一步のところでのサヨナラ負けという非常に悔しい結果となりました。しかし、この敗戦は間違いなく夏へ向けてプラス材料となることでしょう。コロナ禍を乗り越え、第105回大会は完全復活の夏となります。

今年の夏、必ず太田一高旋風を巻き起こします。駆け上がれ、

# RISING DRAGON!